

各教科の特性を踏まえた、東方中学校における「主体的・対話的で深い学び」を生む学習構成表

体育科

段階	定義	活動場面	教科の特性を考慮した活動（生徒の立場で記入する。）	ICTの活用
主体的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 問いや疑問に対して、これまでに学習してきた知識や技能を使って、自分の考えをもつこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題を提示する。 ● 教師の試技を見て確認する。 ● 練習や試合の計画や作戦を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 前時までに学習した内容から、本時の学習課題に関することを確認する。 ● 学習課題に対して、どんな実技活動を行えばよいのか、計画を考える。 ● 学習課題に対して、どんな練習や作戦を行えばよいのか、確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーポイントなどで作成したプレゼンテーションを用いて、学習課題の提示を行う。 ● パワーポイントなどで作成したプレゼンテーションを用いて、学習課題に関する画像や動画を視聴させる。
対話的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 他と対話しながら、自分の考えを比較・吟味するなどして、考えを広げたり深めたりすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 実際に実技を行い、その方法についてグループで検討する。 ● 練習パートナーやグループで、練習計画や試合の作戦を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● グループをつくり、自分の実技について上手くできたところ、上手くいかなかったところをグループで検討する。 ● 上手くできた生徒の実技方法を確認する。 ● 上手くできなかった原因を探りどのように改善していけばよいかを確認する。 ● 練習パートナーやグループで、課題に対してどのような練習を行えばよいか検討する。 ● 練習パートナーやグループで、課題に対してどのような作戦を立てればよいか検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーポイントや映像を参考にしながら、協力して課題を出し合う。 ● 動画を使い視覚的な提示を行うことで、生徒に対してより具体的な課題を提示する。
深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分のこれまでの考えと新たな考えをつなげること。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習のまとめを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 前時までに学習した内容と、本時に学習した内容がどのように関係しているのかを確認する。 ● 本時に学習した内容から、新たな疑問を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● タブレットPCやスマートフォンなどを用いて、練習中の写真や動画を撮影しておき、工夫しているところなどを全体に紹介する。